

ふくふくがむら版

麻生教育サービス株式会社 URL <http://www.aso-education.co.jp/>

特集① Pickup Report 福岡県では、「介護職員が喀痰吸引等を実施できるようになるための研修」を行っています。

特集② Special Interview 宅老所「よりあい」のモットーは、“とことんつきあう”!



2013
VOL. 90



福岡県 保健医療介護部
高齢者支援課 施設運営係 主任主事
三浦貴史さん

福岡県では、「介護職員が喀痰吸引等を実施できるようになるための研修」を行っています。

平成24年4月から、介護職員による喀痰吸引等の新制度が始まりました。制度改正の背景、実施にあたっての考え方をお知らせします。

新制度ができた背景

これまで、介護職員による喀痰吸引等は、当面のやむを得ない措置として一定の条件のもとで認められてきましたが、社会福祉士及び介護福祉士法が改正され、介護職員による喀痰吸引等は、法律に則って実施することとなりました。

介護職員が実際に喀痰吸引等を実施するために必要な条件

都道府県知事等が行う「喀痰吸引等研修」を修了し、「認定特定行為業務従事者」の認定を受けた介護職員による喀痰吸引等を提供する事業所は、「登録特定行為事業者」の登録を受けた事業所においてのみ実施できます。



福岡県の取り組み

福岡県知事が行う喀痰吸引等研修では、様々な状況に対応できるよう、通常手順でのたんの吸引(口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部)に加え、人工呼吸器をつけた人に対する手順も修得することができます。また、胃ろう(腸ろう)による経管栄養については、滴下での手順に加え、半固体での手順を修得することができます。開催にあたっても、研修会場の利便性などを充実させました。次年度以降につきましては

「登録特定行為事業者」の登録を受けた事業所においてのみ実施できます。「登録特定行為事業者」の登録には安全管理体制の整備等が必要となります。介護職員による喀痰吸引等研修に初めて携わらせていただきました。事務局として書類等のとりまとめに加え、実際に研修会場へ行きオリエンテーションや、演習の準備等させて頂きました。受講生の方々はお仕事の合間に研修に参加されており、皆様の熱意に脱帽すると同時に喀痰吸引等を必要としている方が多いという現状を身をもって感じました。先日第1号・2号研修の基本研修が終了致しました。研修において技術の習得だけでなく、受講生同士の絆も生まれているように感じ受講生の方にとって意義ある研修になつたのではないかと事務局側も嬉しく思っております。皆様が各施設・事業所等において実際に喀痰吸引等を行えるようになるまでしっかりとサポートをさせていただきます。宜しくお願い致します。

お問い合わせ:福岡県 保健医療介護部高齢者支援課 施設運営係 ☎092-643-3250

たちばなし



マツバ教育サービス
株式会社
医療福祉事業部
人材育成支援課
立花美穂

手のぬくもりは心のぬくもり

セラピューティック・ケア

幼いころ、母親に「痛いの痛いの飛んで行け」と手を当ててもらったら、不思議と安心感に包まれた記憶はありませんか？今回取材した秋吉美千代さんは手のひらでやすらぎを与える「セラピューティック・ケア」の第一人者。彼女が伝える心と身体に寄り添う「手当て」とは？

セラピューティック・ケアとは、「治療力のある介護」という意味で、イギリス赤十字社によりボランティアのスキルとして考案されました。「ふれる」というシンプルな行為で心身に安らぎを与えて、精神的な痛みを和らげる”ことばのいらないコミュニケーション”です。また、衣服を着脱する必要がなく、なんの道具も要らず、短時間でできるユニバーサルケアとして、看護・介護の現場で取り入れられる方が日本全国に増えています。

「前みたいに日常生活が送れず、不安が



手法はやさしいタッチで「なでる・こねる」。両者の間に強い信頼感を生じさせます。

「次は何曜日に
なかには曜日の
感覚がなくなつ
た認知症の方が
「前みたいに日常生
活が送れず、不安が
えています。

いっぱいのお年寄りが、最後まで人間の尊厳を保つためにできることはないかと考えてきたんです」と語る秋吉さん。首や肩、腕などをふれて、なでて、こねる15分のケアで心身のやすらぎをはじめ、循環機能を高めたり、幸せホルモンとして注目されているオキシトシンの分泌を高めるなどのエビデンスも出

来るとかい？」と楽しみに聞かれたり、「体のコリではなく、心のコリを癒してくれた」と涙をためる方もいるそう。

歳を重ねれば重ねるほど、人とふれ合うことが少なくなります。そんなとき、両手の温もりが伝える安心感、さみしさや不安の解消は大きなもの。言葉が話せなくても心を通わせることができます。両手で伝えるやさしいコミュニケーションで、心と身体に寄り添うケアを始めてみませんか？

秋吉氏によるセラピューティック・ケアとの出会いからエビデンスまで詰まった1冊。(木星舎刊)



※ユニバーサルケアとは 年齢・性別・障害の有無にかかわらず生老病死のあらゆる場面で活用できるケアの意味です。

カルチャー講座のご案内

～英国赤十字社発～

癒しのハンドケア セラピューティック・ケア

- 日 時：【第1回】2014年1月18日(土) 13:00～15:00 以降、第1・第3土曜日
- 受講料：3ヵ月で 13,230円(税込) 教材費別途3,200円
- お問合せ・お申込：岩田屋コミュニティカレッジ TEL:092-781-1031
- ※お申込みは12月1日(日)より受付開始

その他、随時HPで体験コースなどをアップしています。<http://therapy-care.net/>

お問合せは麻生教育サービス株式会社まで ☎092-482-7006 (担当:大和田)

プロフィール
秋吉 美千代さん
Michiyo Akiyoshi

昭和13年生まれ、75歳。現在、NPO法人日本セラピューティック・ケア協会理事長。病院・介護施設等でのボランティア活動をはじめ、小中学校や介護専門学校で授業を行なう。最近では保育士の資格を活かし子育て支援に注力している。



〈セラピューティック・ケア〉
ハンド&アームケア、着衣の上からのネック&ショルダーケア、レッグケアの3つに分類。施術する人・される人の双方に安らぎをもたらし、信頼感を築ける。看護・介護職のあらゆる場面に活用できるスキルの一つとして、現場で役立てられている。

宅老所「よりあい」のモットーは、 ”どことんつきあう”！

「できればホームに入らなくてすむ」ための特別養護老人ホームをつくる挑戦をしている人たちがいます。その真意や根幹にある考え方を取材するうちに、お年寄りだけでなく、現代人が直面する地域の問題や、「こころと体の問題が見えてきました。

村瀬さんの「不思議な語り口」



宅老所「よりあい」の集いの場にて

宅老所「よりあい」の代表を務める村瀬孝生さん。村瀬さんがお年寄りについて話すのを聞くと、思わず吹き出します。やつとトイレに行つてくれたおばあさんに「誰か助けてください。わたしはここで犯されております」と悲鳴をあげられたという話。湯船に浸かったおばあさんに、娘さんが「お母さん、いま逝つたら極楽よ」と語りかけた

「おばあさん、娘さんはお母さん、いま逝つたら極楽よ」と語りかけた。おばあさんに娘さんが「お母さん、いま逝つたら極楽よ」と語りかけた。おばあさん、娘さんはお母さん、いま逝つたら極楽よ」と語りかけた。

年寄りとしつかり向き合ってきたからこそ遣える自然な語り口だからだ

と納得します。

宅老所「よりあい」の成り立ち

宅老所「よりあい」ができたのは23年前。時折ボヤを出して危ないと思われていたひとり暮らしの大場ノブヲさん(92)。当時、ノブヲさんのようにぼけを抱えたお年寄りの居場所は地域になく、お寺の茶室に集まる場を設けたことが始まりでした。いつしかお寺のキヤパシティを越えて、一軒家を借りることになりました。それが2軒となり、ついには3軒になりました。当初から行われていたのが、「自宅で暮らしながら、『よりあい』に通い、時には泊まる」というスタイル。それは「どんな人でも、やつぱり自宅で暮らしたいはず。入居しないで暮らしたら、それに越したことはない」という考えが根底にあつたからでした。



老若男女が詰めかけたチャリティコンサート

若いと死に「とことんつきあう」

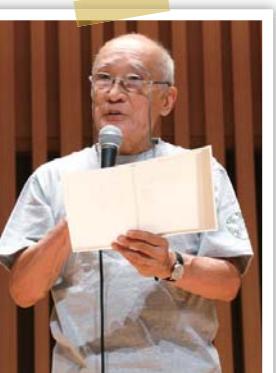
「ここ」では、つきあう「とこ」とを大切にしています」と村瀬さん。例えば、夕方になると今は存在しない家に帰りたがるお年寄りがいます。さてどうしよう? 宅老所「よりあい」では、これを問題行動として薬で落着かせたり閉じ込めたりする代わりに、とことんつきあいます。「あそこが私の家です」と言うところまで一緒に歩く。「違いました、あっちでした」と、そこまで歩く。次第に日も暮れて、お年寄りも職員も途方に

よりあいの森は こんなところになる予定

特別養護老人ホーム「よりあいの森」の建設が予定されている、福岡市城南区別府7丁目。近隣の街の高齢化率は21~31%で、老いを見守る取り組みが急がれる場所でもあります。「よりあいの森」は、8~10人程度の小集団で共同生活を行う、ユニットならではの独立性や帰属感を大切にしながら、家族や地域と有機的につながれる施設を目指しています。2013年9月現在、目標金額の5250万円のうち、2380万円あまりが集まりました。今後も「よりあいの森」建設の様子は随時レポートする予定です。



会場では介護福祉に関する書籍もズラリ!



自分の詩を朗読する谷川俊太郎さん

よりあい、もちよる、わかつあう

はね、前に比べていい詩を書こうとは思わない。ぼけのお年寄りと一緒になんです。今ここしかない。俊太郎さんの生きる姿勢に直結した言葉でした。

9月7日のコンサート当日には、御年82歳の俊太郎さんと村瀬さんの対談も行われました。俊太郎さんが「年をとるために嘘をつく必要がなくなってきた。人に愛想よくする必要ないもんね」と話せば、村瀬さんは「老人ホームでよくやる生きがいづくりについてどう思いましたか?」という鋭い質問が投げかけられたり。ユーモラスで笑いたっぷりのトークの中で、「今ここ」というキーワードが飛び出しました。「ぼく



ホームページ
<http://yorainomori.com>



対談では、老いや心と体の話がどんどん語られる

低下して、もう循環できない状態になつていてるのが伝わるんです。その時を、頭ではなく身体で理解することが大切だと思います。いい看取りの定義はありませんが、最期までご家族と一緒につきあいます。

新しい老人ホームを作ろう!

その宅老所「よりあい」が、新しい取り組みを始めました。それは「新しい老人ホームを作ろう」というもの。ただいま緑豊かな森を取得し、建設費用をつくっているところ。その方がユニークで、寄付を募るのと同時に職員でジャムやグッズをつくつて販売中。そのコツコツとした取り組みを見て、「ひと肌脱ごう」という人が現れました。詩人の谷川俊太郎さんです。以前から交流があり、「よ

りあいのうた」という詩をつくったこともあります。俊太郎さん。息子の谷川賢作さんが組むバンド「Diva」とともに、チャリティコンサートを開いてくれることになったのです。

詩人・谷川俊太郎さんからのエール

りあいのうた」という詩をつくったこともある俊太郎さん。息子の谷川賢作さんが組むバンド「Diva」とともに、チャリティコンサートを開いてくれることになったのです。

はね、前に比べていい詩を書こうとは思わない。ぼけのお年寄りと一緒になんです。今ここしかない。俊太郎さんの生きる姿勢に直結した言葉でした。

9月7日のコンサート当日には、御年82歳の俊太郎さんと村瀬さんの対談も行われました。俊太郎さんが「年をとるために嘘をつく必要がなくなってきた。人に愛想よくする必要ないもんね」と話せば、村瀬さんは「老人ホームでよくやる生きがいづくりについてどう思いましたか?」という鋭い質問が投げかけられたり。ユーモラスで笑いたっぷりのトークの中で、「今ここ」というキーワードが飛び出しました。「ぼく

はね、前に比べていい詩を書こうとは思わない。ぼけのお年寄りと一緒になんです。今ここしかない。俊太郎さんの生きる姿勢に直結した言葉でした。

9月7日のコンサート当日には、御年82歳の俊太郎さんと村瀬さんの対談も行われました。俊太郎さんが「年をとるために嘘をつく必要がなくなってきた。人に愛想よくする必要ないもんね」と話せば、村瀬さんは「老人ホームでよくやる生きがいづくりについてどう思いましたか?」という鋭い質問が投げかけられたり。ユーモラスで笑いたっぷりのトークの中で、「今ここ」というキーワードが飛び出しました。「ぼく



村瀬孝生さん
Profile

1964年生まれ。福岡県飯塚市出身。東北福祉大学を卒業後、特別養護老人ホームに生活指導員として勤務。1996年から第2宅老所「よりあい」所長、2013年より代表を務める。

まごころ医療をめざして 飯塚病院 TQM発表大会 報告

医療の質の向上をめざすことを目的に、飯塚病院では平成4年よりTQM活動を行なっています。TQMとは、全員(Total)で医療・サービスの質(Quality)を継続的に向上させる(Management)



日本全国から946名の医療従事者等が
TQM発表大会に集まった。

こと。飯塚病院は全国でも活発な改善活動を行なっている施設の一つで、毎年職員がチームを組み、改善すべきテーマに向けて約半年かけてPDCAをまわしている。今年で22回目を迎えたTQM発表大会では、全16グループが「待ち時間の削減」

「データベースの内容充実」など様々な改善活動の成果を発表しました。職員一人ひとりによる患者へのまごころを込めた医療やサービス、チーム医療は、こういったTQM活動により育まれ、医療の効率化、顧客満足に繋がっています。



検査支援から診療原価、物品管理などの医療ITシステムを紹介。

メイン会場以外に、栄養、清拭に関してなどの展示ブースもあり。



9月21日(土)のがみプレジデントホテルにて、来場者数946名(ゲスト641名・飯塚病院スタッフ305名)

選ばれる組織にはワケがある!

選ばれる組織に必要な 3つの力

①社会人 力

②組 織 力

③専 門 力

「プロとしての土台」を安定させる為に、3つの力のバランスが重要!!

麻生教育サービスでは

□お客様に合わせた オリジナル研修をご提案!

お客様の要望をヒアリングし、カリキュラムを作成いたします。

□アンケートによる意識調査や 今後の課題を抽出!

今まで分からなかった職員の意識を確認し、具体的な解決策へと導きます。

□研修後のサポートも万全!

研修を行うことでわかる新たな課題を分析し、その解決策をご提案いたします。

人材育成研修プランの特徴

①気づきを喚起

WHY(なぜ?)を重視した研修を展開し、受講者に自ら考えて頂き、気づきを促進します。

大切なのは受講者の「気づき」です。「勉強になった」ではなく、「自ら気づき、主体的に行動」できる様にプランニングいたします。

②参加型

「参加型」プログラムを盛り込み、受講者の主体性や学習効果を高めます。

③体得型

グループワークなどを受講者主体で設定・実践することで、知識レベルの理解→体得→現場での活用に導きます。

〈法人幹部や本部企画担当者の声〉

受講後の お客様の声

「利用者の視点」に心がけているつもりでも、自分たちの内側の論理で取り組んでいることに気づかされた。

〈研修受講者(管理職)の声〉

- 自分の行動が周囲にどのような影響を与えてるかに気づいた。
- 私たちの意見やコメントを、(講師が)全部肯定的に受け止めてくださったのが嬉しかった。

〈研修受講者(職員)の声〉

- 表面的ではなく、本質的なことからケアができるようにならなくてはと思った。
- 言葉のかけ方ひとつで、こんなに受け止め方が変わる。今まで難だつた言葉づかいを見直したい。

忙しい医療・介護・福祉の現場でも導入可能な柔軟なプログラムの提供と運営、フォローのノウハウをご提供いたします。お気軽にお問い合わせください!